

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校 文化デザイナー学院	昭和51年4月1日	大久保 博之	〒310-0026 水戸市泉町1丁目3番22号 (電話) 029-303-1010			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 リリー文化学園	昭和51年1月22日	理事長 大久保 博之	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820			
目 的	本学科は、ファッション業界において、コーディネーターとして就職並びに活躍できる人材の育成を目指し、コーディネート技術から、仕入れ・販売・ディスプレイ・小売管理に至るまでの専門教育を行うことを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養	産業デザイン 専門課程	ファッションコ ーディネート学 科	3年(昼)	2760単位時間 (又は単位)	平成23年文部科学 大臣告示第167号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1020単位時間 (又は単位)	1740単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	41人	2人	22人	24人		
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 総合評価 A. B. C. D(D=単位不可) 部分評価を総合して4段階で評価する。	
長期休み	■学年始め：4月5日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月16日			卒業・進級条件	①出欠は学期内全科目の規定回数を全て満たしている。 ②課題は学期内の規定課題作品を全て提出し、その評価は60点以上である。 ③試験は学期末に行われる期末試験ですべての科目が60点以上である。	

<p>生徒指導</p>	<p>■クラス担任制（有・無） 専任教員が担当する授業のキャリアデザインでは、毎回同じ者が担当する。 また、試験・課題・出欠・就職・学校生活についてはそれぞれの担当がいる。 ■長期欠席者への指導等の対応 電話確認、保護者への連絡、面談など</p>	<p>課外活動</p>	<p>■課外活動の種類 京成通り商店会黄門まつりワークショップ・mito☆ファッションショー・水戸まちなかフェスティバル・水戸生涯学習センターこども合衆国 ■サークル活動（有・無）</p>
<p>就職等の状況</p>	<p>■主な就職先、業界等 アパレル販売/フォトスタジオ/販売企画/縫製/ビューティー ■就職率※<sup>1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合※<sup>2</sup> 100% ■その他（任意）  (平成28年度卒業者に関する平成29年5月時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ファッションビジネス能力認定試験/販売士/サービス接客検定/AFT色彩検定/ネイリスト技能検定/ラッピングコーディネーター/Microsoft office specialist試験/Illustratorクリエイター能力認定試験/Photoshopクリエイター試験/POP広告クリエイター</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 5名 ■中退率 10.2% 平成28年4月1日在学者 49名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 44名（平成29年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ①経済的な問題での就学困難 ②方向性や適正など進路に対する自信の喪失 ③病気による社会生活・就学困難 ■中退防止のための取組 対策として、欠席率の段階によって教職員による面談をしている。1段階指導として担当の面接、2段階指導として主任以上の職員による面接を実施している。また、課題の提出状況も把握し適切に指導出来るように、全ての規定課題（提出義務課題）については教務提出としている。経済的問題に対しても細かく配慮し、保護者との面談を行っている。奨学金や国の教育ローンなどを利用することによる資金計画について相談し、就学困難を回避している。また、昨今増えつつある精神的な病気についても出来る限り配慮することとし、安心して就学出来るように細かい面接等をしている。これらの細部にわたる「学生に対する配慮」が退学率を低くしており、「愛情をもって接する」という一人ひとりのスタッフのスピリッツにより支えられている。</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.bunka-gakuen.ac.jp">www.bunka-gakuen.ac.jp</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、企業が求める人材ニーズや地域の産業振興の方向性を把握し、職業教育を向上させるために、企業・団体と連携して授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を行うなど、企業等の要請を考慮した実践的かつ専門的な教育課程の編成を行うこととし、各学科の関連業界の動向や地域の産業振興に関して知見を有する業界団体の役職員や、実務に関する知識、技術、技能に関して知見を有する企業の役職員の方々を委員とする教育課程編成委員会を設置し、様々な意見を活用して教育課程を編成することを基本方針とする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年6月12日現在

名 前	所 属
倉田 稔之	茨城デザイン振興協議会
坂 大樹	株式会社 スタジオサカ
椿本 学	いばらき印刷株式会社
橋本 人志	株式会社 水戸京成百貨店
安 浩美	株式会社 アーペ
杉浦 時彦	株式会社 アットワーク
高橋 琢	茨城インテリアコーディネーター協会
小川 憲一	茨城県建築士事務所協会
横須賀 弘	有限会社 コムスペースデザイン
大久保 博之	専門学校 文化デザイナー学院
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院
菅谷 守	学校法人 リリー文化学園

### (開催日時)

第1回 平成29年7月24日 15:00～17:00 (実施予定)

第2回 平成30年2月13日 15:00～17:00 (実施予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は教育方針として、「職業実践主義」「プロセス・表現主義」「デザインマインド教育」の三つを掲げている。特にデザインプロセスの実践的学習として「情報収集」→「分析」→「企画」→「デザイン制作」→「プレゼンテーション」までの流れを体験的に学習することは、上記の教育方針を総合的に理解することができると思う。

そのために、地域においてデザインを必要とする企業・団体・自治体と連携して学生に「現実的テーマ」を与え、担当講師の指導の下、一連のデザインプロセスについて質の高いデザイン力を習得することを目的として実習・演習を行うことを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
ファッションラインナップ	設定したテーマに合った商品選定、スタイリングを販売されている商品で表現する。	ユーゴー
ファッションコーディネート		

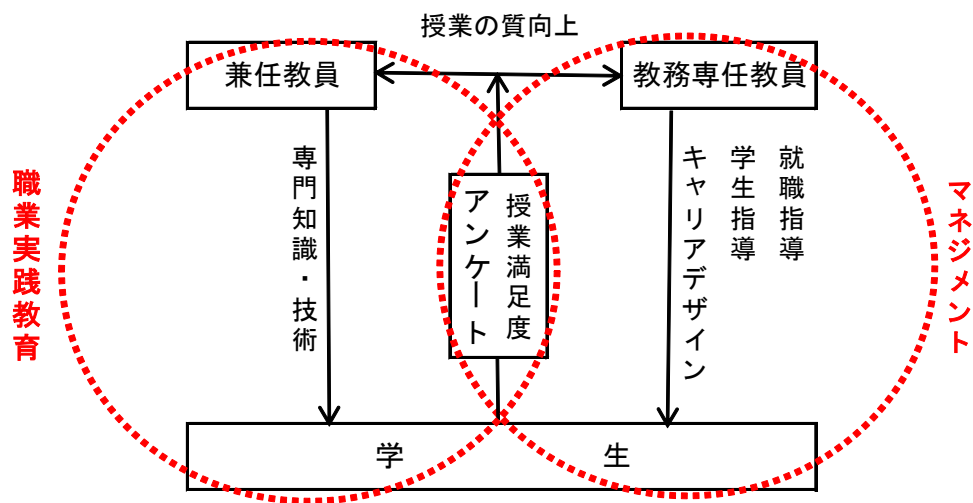
ファッションデザイン画  ビジュアルマーチャンダイジング  ファッションクリエイトⅡ  デジタルデザイン  雑貨コーディネート	商品価値を理解したリメイクファッションの制作と販売促進のためのディスプレイデザインを行う。	ユーゴー
ファッションショップデザイン  ファッションメディアデザイン  ファッション雑誌演習	ショップの形状・商品セレクト・経営方針などを設定し一つのショップとしてまとめ上げる。  PRのためのブランドイメージブックとWEBショップサイトも制作し、連動させる。	ユーゴー・丸井

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「プロによる実践教育」について

本校は、下記図のように、実務に関する知識、技術、技能に関しては「プロの兼任教員」が教授し、学生に対する様々な指導、マネジメントに関しては教務専任教員が担当している。



デザインは、教科書的にまとめられる領域は少なく実務実習型の授業がほとんどである。従って、授業を受け持つには、例えば、広告デザインの分野では、デザイン構成やDTP技術はグラフィックデザイナーが教え、カラーコーディネートはその有資格者が教え、Webデザインは、Webデザイナー

一が教えている。インテリアデザインの分野では、設計製図は一級建築士が教え、インテリアコーディネーターはインテリアコーディネーターの有資格者が教え、3DCAD（3次元パース）は建築士の中でも、その技術を習得したプロが教える。また、エクステリアデザインに関しては、造園業にも精通したプロが教えるという具合である。また、本校のファッションコーディネーターは流通小売業の分野を学ぶもので、商品知識、接客、仕入れ、ディスプレイ、経理、はもとより、ネイルアート、フラワーコーディネーター、ラッピング、雑貨・ファッション小物制作等、それぞれの専門的授業に対して、その分野のプロが授業を受け持つことが必要になる。

このような観点から、本校は、ほとんどの授業においてその分野で活躍するプロが授業を担当するため、研修・研究に関しては、プロが行う現場の業務を通して常に先端の技術研修が行なわれているものとする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 6 月 12 日現在

名 前	所 属
新名 勝彦	茨城県中小企業団体中央会
岡田 寛和	株式会社光和印刷
竹越 萌野	株式会社藤代範雄デザイン事務所
安藤 理	水戸ステーション開発株式会社
住谷 強生	株式会社ジェイディーアールスマヤ
高橋 琢	茨城インテリアコーディネーター協会
関根 貴雄	株式会社関根工務店
阿久津 裕司	株式会社根本建築設計事務所
大久保 博之	専門学校 文化デザイナー学院
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院
菅谷 守	学校法人 リリー文化学園

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

(開催日時)

第1回 平成 29 年 6 月 12 日 15:00~17:00 予定

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションビジネス知識	ファッションのビジネス・生活・消費・産業構造・マーケティング・マーケティング・流通・販売・基礎知識・キャリアプランについて学ぶ	1前	60	4	○		
○			ファッションイメージマップ	ファッションブランドを分析しトレンドにおける知識の引き出しを増やす。MAP制作を中心に行う。	1通	60	2		○	
○			ファッションラインナップ	ファッションの基本的なアイテムを網羅し構成する要素を体系的に学ぶ。組合せや構成によって印象が変わる事を学ぶ。	1通	60	4	○		
○			ファッションコーディネート	ファッション流通・販売促進に不可欠とされるスタイリング。基本的な知識や技術を学び実際のスタイリングへと応用する。	1通	60	2		○	△
○			ラッピングコーディネート	商品に合わせてたり、ラッピングの種類で意味を持たせる事を学び、ラッピングコーディネーターの資格取得を目指す。	1前	30	1		○	
○			コンピュータワーク	ウェアのエクセルとワードを中心に、コンピュータ技術を身に付け、ファッションショップビジネスの即戦力の幅を広げる。	1通	60	2		○	
○			カラーコーディネート	色彩・明度・彩度など色の特性を理解し、ファッションシーンに活かされる方法を学ぶ。	1前	30	2	○		
○			ファッションクロッキー	描く事のトレーニング。フリーハンドから自分自身の表現へと繋がる描写の楽しさを知り表現する能力を身に付ける。	1通	60	2		○	
○			テキスタイル	素材の知識の特性を学び商品企画やコーディネート接客に繋がる知識を養います。素材に触れファッションの中でどの様に活かされるかを学ぶ。	1前	60	4	○		
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ネイルデザイン	ベースとなる正しいネイルアートと美しさを際立たせるネイルアートの発想とその具体的な手法を学ぶ。	1前	60	2		○	
○			ファッション造形知識	ファッションの文化・デザイン文化・コーディネート・商品知識・デザイン・エンジニアリング・パターンメイキングについて学ぶ。	1後	60	4	○		
○			ファッションデザインI	ファッションの価値を基本的な制作過程より学ぶ。授業では工業用ミシンによる制作と、パターンを0から作り、衣料の制作に繋げる。	1通	120	4		○	
○			POPデザイン	お店で使われるPOPの特徴・性質を理解し、様々な道具の活用方法を習得する。	1後	60	2		○	
○			カラーコーディネーター特講	カラーコーディネーターの資格取得を目指す。資格取得対応の授業内容となっている。	1後	30	2	○		
○			ファッション史	ファッションは時代の最先端にあるアート・若者の音楽・そして映像表現などから影響を受け変化してきた。その移り変わりを学ぶ。	1後	60	4	○		
○			キャリアデザインI	自己のアイデンティティを再確認し、将来の専門分野での適正を考える。	1通	60	4	○		
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			販売士	商品/マーチャンダイングの基本。商品計画/利益追求の基本知識。流通経路・形態・チェーンストアの基本的な役割、商業集積の仕組みを理解する。	2前	60	4	○		
○			雑貨コーディネート	ファッションに付随するグッズ/アイテムは数多く存在する。それらの制作プロセスを理解する事により、価値を見出す。	2通	120	4		○	△
○			メイク	基本を踏まえた上で個性的な感性を身に付け顔をキャンパスに幅広い技術を学ぶ。	2前	60	2		○	
○			デジタルデザイン	Adobe のイラストレーターとフォトショップ を使い店舗ブランディングに活きる、仕事に役出すデジタルデザインの知識を修得する。	2通	120	4		○	△
○			ファッションブランド	様々なトレンドにおける知識の引き出しを増やし、時代に合わせたトレンドポイントを明らかにする。	2前	60	4	○		
○			ファッションデザイン画	パターンを意識し服の構造を把握した表現方法、素材の特徴を生かす表現テクニックでデザインイメージを表現する事を身に付ける。	2通	60	2		○	△
○			ファッションデザインⅡ	ファッションの制作技術応用。基礎的な技術をマスターし、それぞれの考えでファッション制作がミシンを使用して出来るプロセスを学ぶ。	2前	60	2		○	△
○			ディスプレイデザイン	ショップの商品の特長を活かし、飾れる技術を身に付ける為に実際の模型やプレゼンボードを制作し、実際にディスプレイデザイン制作する。	2前	60	2		○	△
○			販売士	ディスプレイデザイン/作業割り当て/人的販売の基本的役割。顧客管理/販売促進/商品の設定と出店/売場づくりの基本的考え方。基本業務/法令知識/事務と計数管理/人間関係/店舗管理の役割。	2後	60	4	○		
合計				科目	単位時間 ( 単位)					



授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			フラワーコーディネート	フラワーアレンジメント・フラワーコーディネートを実務に沿って実習する。また、理論的に学ぶ事を行いお店で扱う事が出来る知識を身に付ける。	2後	30	1		○	
○			ファッションブランディング	ファッションブランドの成り立ちやどんな企業が存在するかを把握する。またブランディングについて研究する。	2後	60	4	○		
○			ファッションデザインⅡ	より深くファッションデザインの仕組みを理解できるよう、制作を通してファッションへのアプローチ・研究を行う。	2後	60	2		○	△
○			ビジュアルマーチャンダイジング	ショップを始め流通の場で商品の販売促進を目的として行われる商空間演出を講義と実習を通して学ぶ。	2後	60	2		○	△
○			アクセサリデザイン	実際にアクセサリを制作する事により、ショップに売られているアクセサリを理解して販売する事を目指す。	2後	60	2		○	
○			ブライダルファッション	ファッションの分野にはブライダルも含まれる。パーティードレスやブライダルドレス、ファッションのシーションの幅を広げる。	2後	60	2		○	
○			キャリアデザインⅡ	社会の中でのアテンションを再発見し、将来の専門分野の進路への手がかりを得る。	2通	60	4	○		
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			サービス接遇	社会にでて必要なサービス接遇力を学び、最終的にはサービス接遇の資格取得を目指した対策授業。	3前	30	2	○		
○			ブライダルファッション	ファッションの分野にはブライダルも含まれる。パーティードレスやブライダルドレス、ファッションのシチュエーションの幅を広げる。	3前	60	2		○	△
○			ショップデザイン研究	ショップデザインコンセプトの研究。ショップを運営する為に必要なディスプレイデザインやショップコーディネートを戦略的に提案できる力を身に付ける。	3前	60	4	○		
○			ファッションメディアデザイン	ファッションを取り巻く情報は溢れている。メディア(WEB)に合わせて情報を編集・デザインする能力とそれを発信できる一歩進んだ販売方法を学ぶ。	3通	120	4		○	△
○			ファッションデザインⅢ	ファッションの制作技術応用。基礎的な技術をマスターし、それぞれの考えでファッション制作がミシンを使用して出来るポイントを学ぶ。	3前	60	2		○	△
○			写真表現	運営の中で写真で表現するものは多い。写真撮影の技術を求められると共に写真を使用した表現技術も求められる。	3前	60	2		○	
○			イベントプロデュース	ファッション業界には沢山のイベントがある。それぞれのイベントに合わせて企画を考えられ実行できる為のイベント運営のフローを学ぶ。	3通	120	4		○	△
○			ロールプレイング	実践的な接客対応を学ぶため「基本言動・接客応答・接客対応」のロールプレイングを行う。	3前	30	2	○		
○			スタイリストワーク	スタイリングを行う際にも参考となる和装の着付を修得する。着付はスタイリング力を向上させる為にも必要な技術である。	3後	60	2		○	
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションショップデザイン	ファッションショップの流通の場で商品の販売促進を目的して行われる商空間演出を実習を通して学ぶ。	3後	60	2		○	△
○			ファッション雑誌演習	ファッション雑誌を制作するうえで必要となるコーディネート力と雑誌を制作する上での撮影技術を学び表現技術を高める編集についても学ぶ。	3後	60	2		○	△
○			キャリアデザインⅢ	ファッションコーディネート力を学び身に付けたことを将来どう活かしていくかを確認し行動していく。	3通	60	4	○		
合計				44科目		2760単位時間		(	122単位)	